

平成25年度 科学研究費助成事業（特別推進研究）
追跡評価結果

研究課題名	遠赤外線干渉計を用いた高解像撮像による星形成現象の詳細研究
研究代表者名 (所属・職)	芝井 広 (大阪大学・大学院理学研究科・教授)

【評価意見】

本研究の目的は、気球搭載遠赤外線干渉計観測を行い、遠赤外域においてこれまでにない高い角分解能での観測を行い、これによって星形成現象の研究を行うことであった。外的条件に恵まれないこともあり、研究期間中（平成15～19年度、平成20年度に繰越）には気球搭載観測は実施できず、この目標は達成されなかった。その後、平成22～26年度に基盤研究（S）が採択され、研究は継続されているが、これも外的条件の変化もあって、現時点（平成25年夏）においても科学的な成果は得られていない。したがって、本特別推進研究として、学術的成果があったとは言えないと判断せざるを得ない。

ただし、この研究によって培われた技術は、将来の宇宙からの赤外線干渉計観測の基本技術要素になる可能性があり、この意味では、同分野において一定の貢献をすることが期待できる。また、本研究開発を通じて、何人かの大学院生が育ち、現在活躍していることから、人材育成という面での寄与があったことは認められた。